

右翼と左翼 —政治思想の羅針盤—

1. 右と左とはそもそも何か

- ・ 多様なイメージ
- ・ 基準は何か

2. 起源を探る—フランス革命に始まる

- ・ 絶対王政から立憲主義 = 自由主義へ <立憲議会の急進派 vs 保守派>
- ・ 自由主義から(社会)民主主義へ <国民公会における山岳派 vs ジロンド派>
- ・ 進歩思想の誕生(ヘーゲルとマルクス)
- ・ ナショナリズム(右翼)とインターナショナリズム(左翼)

3. 日本の「右翼」と「左翼」

- ・ 戦前日本の「右」と「左」
 - フランスとは異なる方向性
 - 持ちつ持たれつの協業関係
 - エリート向け密教と一般大衆向け顕教のダブルスタンダード
- ・ 戦後日本の「右」と「左」
 - 逆コースと吉田ドクトリン
 - 60 年安保闘争
 - 戦後「右翼」と「左翼」の甘え

4. 現代日本の「右」と「左」

- ・ サブカルチャー、趣味化する政治思想
- ・ 歴史認識—自虐史観を生んだ「新左翼」とそれに反発する「つくる会」
- ・ 理念無き現状追認 = 右傾化？
- ・ 小泉政権は右か？左か？
- ・ 一貫の価値体系・価値観を与えるイデオロギーの退役
= 意味を与えなくなったイデオロギー(個人主義へ)
- ・ ほとんどの目的を共有し、対立が微調整化した「右」と「左」

【参考文献】

- ・ 浅羽 通明 (著) 『右翼と左翼』 2006 年, 幻冬舎新書
- ・ 藤原 保信 (著) 『自由主義の再検討』 1993 年, 岩波新書
- ・ 森村 進 (著) 『自由はどこまで可能か—リベタリアニズム入門』 2001 年, 講談社現代新書
- ・ 西 研 (著) 『ヘーゲルー大人のなりかた』 1995 年, NHK ブックス